

今期の環境サロンも終盤です。  
気になるテーマに、ぜひおいでください。

環境サロンは身近な環境問題などをテーマに、  
みんなで気軽に学びあえる場、語りあえる場です。

参加費…各回 200 円  
ところ…銀天エコプラザ 3F  
問合せ…39-8110 (銀天エコプラザ)

2/6 (木) 18:30~20:30 市民共同発電

## 事業化に向けての方針について検討する (まちづくりa分科会)

今までの勉強を踏まえて、「我々が目指す市民共同発電」の  
①事業実施主体 ②資金の調達方法 ③太陽光パネル設置  
場所 ④売電先 ⑤収益金の運営又は処分方法について話  
し合いたいと思います。  
ぜひ多くの方のご出席をお待ちいたしております。

2/20 (木) 18:30~20:30 世代間の対話 ~こころの環境づくり~

## 新しい時代のコミュニティづくりに向けて (中繁芳久さん)

大きな転換期を迎えた今、私たちはこれからどこへ向かうのか？  
自分本来の役割を發揮できる自立と助け合いのコミュニティづくりを  
目指す取組、これまでの常識をくつがえす無農薬野菜の新栽培ビジネ  
スの取組など、全国から最新のニュースを話していただきます。

2/27 (木) 18:30~20:30 里山再生

## 森林バイオマスの利用における飯森木材の取り組み (飯森木材 藤本弘さん)

飯森木材は林地残材や道路建設に伴う除伐材を、コンポストやバイオマ  
ス発電に利用することにいち早く取り組んでいます。同社社員であり、  
うりぼう倶楽部の現会長である藤本さんから詳しくお話をききます。

## まちなか銀天 おそうじ隊 募集!

「まちなか銀天おそうじ隊」は、月に一度、  
まちなか環境学習館周辺や銀天街アーケード  
などを掃除しています。  
メンバーはその日集まってくださった方。  
楽しくおしゃべりしながら、  
「まち」をちょっときれいにしませんか？

今回は 2月23日(日) 15:00 から。  
まちなか環境学習館前に集合です。

おそうじ隊参加者には、  
環境地域通貨「エコハ券」2枚進呈!

## 3月21日(金・祝)は まちなかエコ市場

出演者、フリーマーケットや手芸品など、  
出店者を募集しております。

ちよるも来るよ!

電話 39-8110(銀天エコプラザ)

環境歳時記

2月13日  
川俣事件



裏面をご覧ください

初めての方も、ご見学の方もお気軽にご来館ください

銀天エコプラザの大小のミーティングルームは、使いやすい料金で好評です。  
また、環境関連図書もある4階の学習室は、どなたでも無料でご利用いただけます。  
1階で、ご利用の受付・ご利用カードの発行等をいたします。お声かけください。

宇部市環境学習ポータルサイト  
「うべっくる」



うべっくる

検索

<http://www.ubekuru.com>

宇部市のいろいろな環境学習拠点の紹介、環境関連のイベントのお知らせなど、  
随時更新しています。

「銀天エコプラザ」の詳しい紹介もあります。

※ まちなか環境学習館や環境に関することについて、ご意見・ご質問等、お気軽にお  
寄せください。  
ポータルサイト内のブログ、フェイスブックのコメント欄もご利用ください。

## ゆるゆる新聞

♪ ゆるゆる新聞はオルタナティブな暮らしを目指すミニコミ誌です ♪



ゆるゆるお茶会（自由なおしゃべりの会）をときどき開いています。

日程などは、ゆるゆる新聞をご覧になるか、お問い合わせください。

巨大なエネルギーに依存する営みの中では、志を持つ一人ひとりの、地道な息の長い努力で積み上げられる身のまわりの環境保全も、食の安全も一瞬のうちに消し飛ばされてしまいます。このことを福島原発事故があきらかにしました。

わたしたち「ゆるゆる新聞」はこうしたリスクを遠ざけて暮らすにはどうしたらいいのかを読者と一緒に考えています。同じような思いを持つ山口県内の個人・グループとの情報共有と、自然への関心を持つ若い子育て前後の世代への情報提供を目指しています。自然環境への負荷をなるべく少なくする暮らしを、実践や実体験を伝えあうことを基本に据えて紙面を作っています。読者からのカンパで制作し、奇数月に発行中。宇部市民活動センター「青空」を拠点に県内各所で配布しています。

一度手に取って実物をご覧ください。また、投稿をお待ちしています。

連絡先 メール oneloveyamaguchi@yahoo.co.jp 電話 0836-39-1800(札幌)

### 環境歳時記

2月13日

### 川俣事件

日光連山の麓に広がる扇状地の真ん中を渡良瀬川が流れており、山野から肥沃な養分を含んだ雨水を麓の両毛地域に供給し、この地域は古来豊かな穀倉地帯を形成していた。

明治維新前後まではこの地域に住む約30万人の住民たちは米麦作、養蚕、絹織物、染物そして渡良瀬川からの漁獲で潤っていた。しかし、そんな豊かな穀倉地帯に悪夢が忍び寄ってきた。それは渡良瀬川上流で続けられてきた足尾銅山の開発の促進である。

この鉱山の歴史は古く、発見されたのは江戸初期と言われ、江戸幕府の御用山として銅を産出してきた。ただその産出量は微々たるもので鉱毒の影響は少なかった。

しかし、明治時代に入りこの鉱山を古河市兵衛が経営するようになると、大きな資本投下と、西洋からの新しい技術導入で飛躍的に生産量を高めた。

明治10年をすぎると頃から渡良瀬川の鉱毒の影響は明らかになってきた。一つは川に住む魚類が大量に死滅するというもので、これは川での漁業を生業にする漁民達の生活を脅かすものとなった。そして数年後にはその影響は農業の度重なる不作という現象で現れてきた。

鉱山の生産量の増加とともに、鉱毒は田畑の作物に致命的な被害を与えるものとなった。加えて川をとおして鉱毒だけでなく鉱山周囲の荒果てた山野からの土砂も流れ出し、川底のかさ上げ現象をもたらし、洪水も頻発する様になってきた。

かつては肥沃な穀倉地帯は不作の続く疲弊した地域と変わってきた。度重なる被害に農民は鉱毒問題を村議会、県議会などを通じて改善を訴えてきた。しかし、古河の政界工作などでその声は県や国には届かず鉱山に対して有効な手立てはなされなかった。

そんな困窮する農民たちが立ち上がったのが、明治30年3月の足尾銅山鉱毒被害民の東京を目指した大挙押し出しであった。その後、田中正造が国会活動などで鉱毒問題の改善を試みるも事態は悪くなるばかりであった。

そして明治33年2月13日第四回大挙押し出しが始まった。前日の大挙押し出しを伝える各地の寺が打ち鳴らす鐘の音は遠く80kmも離れたところまで伝わったとのことである。一行は活動の拠点であった現在の館林市下早川田町にある雲龍寺を13日午前9時頃出発、各地で立ち上がった農民の数は約12,000人とされている。

繰り返す農民たちの実力行使に業を煮やした政府は事前に農民たちの動きを察知し、

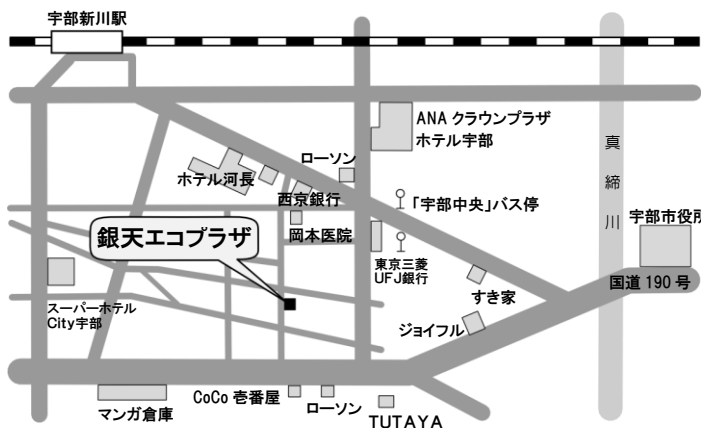
警官隊や憲兵隊を進路の各地に配置していた。農民達の一行約3,000人余りは途中、各地で警官隊と小競り合いを続けながら利根川にかかる近くで唯一の橋がある川俣に午後1時頃到達したところで待機していた数百人の警官隊、憲兵隊と衝突した。(川俣事件)

警官隊が橋に近づいて来た農民たちの群れの先頭に襲いかかり、サーベル、警棒などで殴りかかるもので、逃げ惑う農民を追いかけ回しての暴行であった。この騒動で農民たちには直接の死者はなかったものの多数の重軽傷者をだし、総勢67名の逮捕者を出した。

その後の裁判では警官隊などの強引な行動とずさんな捜査などもあり、また起訴手続き上の不備も重なり、起訴自体が無効ということなんともあけない終結であった。

この事件を契機に取り締まりも厳しくなり、その後繰り返された大挙押し出しもごく少人数のものとなり、組織的な農民の運動はごく一部の活動家のものとなった。

(館長 西村 誠)



### 宇部市まちなか環境学習館 銀天エコプラザ

〒755-0045 山口県宇部市中央町二丁目11番21号

交通手段 JR宇部線：「宇部新川駅」徒歩7分

宇部市営バス：「宇部中央バス停」徒歩3分

駐車場 無し（近隣の有料駐車場等をご利用ください）

TEL/FAX 0836-39-8110

E-mail info@ubekuru.com

開館時間 9時～21時

休館日 毎週火曜日、年末年始（12月29日～1月3日）